

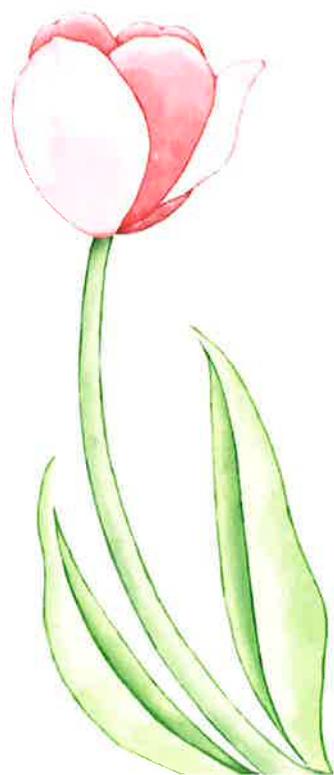
Takeda Smile

Web新聞 第25号
令和7年度卒業号
武田中学校高等学校
教育後援会 広報委員



ご卒業
おめでとうございます

これまでの歩み
これからの未来に
心から祝福を



Congratulations





担任 小野 公宏
「負けたらあかん」

私にとっての恩師はたくさんいますが、高校時代の剣道部顧問を超える人はいないと思っています。剣道には人生の苦難に出くわした時にもそれを超えさらなる高みを目指す精神力を鍛えてもらいました。みなさんもこれから、幾度となく苦難に見舞われることがあると思いますが、負けずに夢実現に向けて頑張ってください。

学年主任 青木 美香
「夢を見るから人生は輝く」

卒業おめでとうございます。いよいよ次のステージが始まります。これまでのたくさんの思い出とこれからのたくさんの出会いを大切に、自分の夢に向かって挑戦し続けてください。皆さんの未来が、笑顔と希望に満ちたものになることを心から願っています。

奥岡 佳奏

中高と6年間過ごした武田での日々は毎日が青春そのもので、かけがえのない思い出で溢れています。入学当初はクラスに馴染めるか不安もありましたが、気づけばどんな時も笑顔でいられて支え合える、私にとって特別な場所になりました。勉強も学校の行事にも全力で取り組むことができ、ふざけ合ったり支え合ったりできる最高の仲間にも恵まれて誇らしい気持ちでいっぱいです。そして、いつも温かく見守ってくださり背中を押してくれた先生方のおかげで学校生活が楽しくて仕方ありませんでした。今では武田に入学できて本当に良かったと思っています。大切な仲間や大好きな先生方と離れるのは寂しいですが、この6年間で学んだことを胸にこれからの未来に向けて一杯頑張っていきます。お世話になった方々、6年間ありがとうございました。



担任 栗元一鴻

「やらない後悔より、やる後悔」

卒業おめでとうございます。武田での3年間、6年間は充実したものになったでしょうか。

これからそれぞれの道を歩いていく中で、多くの失敗と挫折を繰り返すと思いますが、成功を掴むためにはやり続けることしかありません。諦めるのはいつも自分、諦めなければ成功するチャンスがあります。

君たちの未来に期待します。

1・2組 副担任 迫邦彦

「一期一会」

好きな映画に「フォレスト・ガンブ/一期一会」があります。主人公の姿は「与えられた運命の中でベストを尽くし、今を生きる」ことの大切さを表しているように思います。また、タイトル通り縁あって武田で出会った友人は一生の友。大切にしてください。

高畠 健太

まずありがとう

本当にこの学校に来てよかったなと思います。人生で初めて卒業したくないと思っています。武田のみんなはとても明るくて優しく面白く、面白いのに勉強するときはメリハリつけてちゃんと勉強する。そのかっこいい姿を見て自分も色々なことを頑張ってきたと思います。最初は同じ部活の友達としか仲良くなかったけど気づいたらみんな大好きになってました。卒業したら簡単に会えなくなると思うけど本当にみんなのことを応援してます。

3-3



担任 山本 直人
「通過儀礼」

ご卒業おめでとうございます。卒業は、子どもから大人へと歩みを進める「通過儀礼」の一つです。制服を脱ぐことは終わりではなく、新しい役割を引き受ける始まり。三年間で得た学びや友人との時間、迷いながら選び取った進路は、これからの自分を支える確かな土台になります。保護者の皆さまの温かな支えに感謝申し上げます。

副担任 縄稚 雄聖
「一所懸命と一生懸命」

私は「一所懸命」という言い方をします。文字通り、「一生」ずっと懸命にやっていたら疲れまますよね。「一所」要するに「一か所・一時的」を懸命に取り組む方が、できそうじゃないですか？何かを一所懸命頑張った後は、遊んだり、好きなことしたり、そのあとまた、一所懸命頑張る。自分が「一所懸命」になれるものに向かって頑張ってください！！

岡田 沙奈枝

3年間ありがとうございました。先生方や、保護者の方々のおかげで無事卒業することができます！想像以上に濃い3年間で、様々なことを学ぶことができました。支え合い、沢山笑い合える大好きな友達を作ることができ、この存在は私の宝物です。失敗を恐れずまずは挑戦！そんな気持ちを忘れることなくこれからの人生も頑張っていきたいと思います。武田で過ごした日々を忘れず、笑い合った日々を心の支えにして前へと進んでいきます！本当にありがとうございました！



担任 丸川 和寛
「タイミング」

卒業おめでとうございます。これから様々なことが起こると思いますが、すべてのタイミングに感謝し、成長の糧に変換してください。お米のように万人に愛され、必要とされる人間になることを願っています。出会えたタイミングに感謝です。

副担任 岡寄 雄介
「情熱と工夫」

自分が思い描いていた人生ではない。私は高校の卒業式でそう思いました。同じように思っている人がいるなら聞いてほしい。ここからの人生なんとでもなります。ただし「情熱と工夫」この2つがあれば、の話です。ここから何にだってなれるし、無限の可能性が 있습니다。

麻生 啓太／中川 心菜

武田で過ごした三年間を振り返ると、楽しかったことや、嬉しかったことで満ち溢れています。特に、最後の一年間は行事で活躍する機会が増え、武田祭ではステージ発表で「米」というテーマで一位を取ることができました。そして受験勉強では面接の練習など、手厚いご指導のおかげで全員が目標とする進学をすることができました。春からそれぞれ違う進路へと進むことに不安と期待、寂しさはありますが、辛い時は武田で過ごした日々を思い出して頑張っていきたいです。ありがとうございました。



担任 大窪 純平
覚悟を決めろ。

他の誰でもない、お前の物語だ

これから先は、予想だにしない様々なことが皆さんを待ち受けています。しかし、踏み出さなければ何も始まりません。皆さんのストーリーは是非皆さん自身の手で作っててください。

副担任 棚橋 治美

「年年歳歳花相似 歳歳年年人不同」
(毎年花は同じように美しく咲くが
年ごとに人は変わっていく)

若いみなさんは、これからもたくさんの変化があります。その変化を恐れず、泥臭くてもいいので何事にもまっすぐに向き合ってください。そして多くの「出会い」を大事にしてください。

佐藤 凜

6年間ありがとうございました。武田中学校に入学したときはコロナ禍で、対面での授業や行事が制限されることも多くありましたが、先生方の支えのおかげで、たくさんの思い出を作ることができました。高校ではGSコースに入り、ほかのクラスとは違うカリキュラムを通して、多くの刺激と学びを得ることができました。武田での6年間で学んだことを、これからの大学生活にも活かしていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

Takeda Smile

体育祭

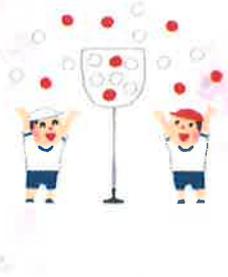


Takeda Smile

この一瞬にかけた演舞は一生の思い出



高3最後の種目のフラッグ



武田祭 1



武田祭 2



Takeda Smile

先生方が生徒を見つめる温かい眼差し



Takeda Smile



Takeda Smile



卒業生の皆さん 卒業おめでとうございます！
毎回みんなの撮影に学校へ行くのが楽しみで、最後の卒業式も撮影に行けてとても幸せでした。
撮影も終わり、卒業アルバムを制作中ですが、みんなの喜ぶ顔を想像しながら作っています。

時間が経てば経つほど卒業アルバムというものは価値を増すと思います。一生大事にしたいと思えるアルバムを制作するので楽しみにしててください！』

《カメラマンもっち》

生徒一人ひとりの一瞬を大切にしてくださる
生徒が気軽に話せるかっこいいカメラマンさん



予餞会



Takeda Smile

祝辞

卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。

みなさんは本日武田高校から旅立ちそれぞれの新たなステージへと進んでいきます。そこは、これまで家族や武田の先生方に守られてきた場所とは違い、より社会に近く、みなさんのこれから人生に大きく影響していく場所になると思います。みなさんの未来は、運命で決まっているものではありません、むこうで待っていてくれるものでも誰かが運んで来てくれるものでもありません。みなさんが、日々考え行動した、その積み重ねの結果が形として現れるのがみなさんの未来です。

これから何を考え何を目標にしそれに基づく行動をどう取っていくのか、どんな環境に身を置き、誰と一緒にいるのか、その一つ一つが自分の成長と未来にとって大切になっていくのです。大学に行けば遊ぶこともみなさんにとって楽しみのひとつでしょう。遊びも大事な経験ですから、大いに楽しんで下さい。けれどその仲間たちや、自分の身を置く場所を選ぶのは自分です。

その仲間たちは、ちゃんと自分の挑戦を応援してくれるのか、その場所は、本当に自分にとって居心地の良い場所なのかをしっかりと見極めていってほしいと思います。

みなさんは、宝です。一人一人尊く大切な存在です。そんなみなさんを雑に扱ったり、見下したり無視をするような人がいたとしたら、そんな時はそっと距離を取ればいいです。なぜなら、そのような事をする原因はみなさんにあるのではなく、その人の心の問題だからです。

人の尊厳とは何かという事もわからないような人に、みなさんの大事な時間や心を削る必要はありません。他人の機嫌など背負わなくていいんです。自分の人生のハンドルを他人に渡さないためにも、人に言われたことだけを鵜呑みにせず、自分で調べて自分で考え、自分なりの行動をする。

他人軸で考えるのではなく、いつでも自分軸に戻せる思考・感覚を養うことも大事なかなと思います。それが本当の意味で自分を守り、自分の人生を楽しむということに繋がっていくからです。

そして失敗を恐れずたくさんの挑戦と経験を積み重ねて下さい。上手くいかなかったものを失敗と呼びますが、私は決してネガティブなことばかりではないと思っています。それは、挑戦した人だけが得られる次の挑戦のための糧であり、そしてそれは必ず自分の強みとなっていくからです。そこでしか見られない景色をたくさん見ることで人間の深みも違っていくのです。

これからの自分を育てていくのはみなさん自身です。焦らなくてもいいんです。自分のペースでいい。人と比べなくてもいい。比べていいのは過去の自分だけ。自分を信じる。自分をあきらめない。そしてみなさんは無限の可能性を持っているのだから勝手に限界を決めないでほしいです。一度しかない人生です。自分自身を大切に、何があっても決してうつむかず、未来を見つめながら、みなさんの中にある無限の可能性の芽をしっかりと育てていって下さい。心から応援しています。

最後になりましたが保護者の皆様、本日晴れやかな日を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。進学に伴い、親元を離れるという方も少なくないかと思います。初めての一人暮らしで身を案じて心配でたまらない日もあるでしょう。親としてじっと見守ることほど辛いものはないということもよくわかります。ですが、どんな状況であっても親の役割に変わりはありません。ここは親の見守る力を発動し、子どもたちがいつでも戻って来た時に、しっかりとその羽を休ませることが出来るよう整えながら、私たちにもある大事な人生を楽しんで参りましょう。

これまで教育後援会への多大なるご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございました。みなさまの幸せを心からお祈り申し上げ、私からのご挨拶とさせていただきます。



教育後援会 会長 岡本妙子



編集後記

🌟卒業生、保護者のみなさま、ご卒業おめでとうございます🌟

今日までお子様を慈しみ、支えてこられた保護者の皆さまにとっても、この卒業という日は感無量のことと思います。

卒業式当日の感動をそのままに、皆さんの晴れやかな門出の瞬間をいち早く共有できることを広報委員一同嬉しく思っております。

今号の誌面を彩る生き生きとした写真の数々は、担任・副担任の先生方が、日々一番近くで生徒たちを見守りながらシャッターを切ってくださったものです。先生方のレンズ越しに映る子どもたちの表情はどれもリラックスしていて深い信頼を感じます。

ご多忙中、これら貴重な記録を提供し、愛のこもったメッセージを寄せてくださった先生方クラス代表の生徒さんのご協力があったからこそ、この特別な卒業号を完成させることができました。心より感謝申し上げます。

Webという形だからこそ、この思い出はいつでも、どこにいても振り返ることができます。数年後、ふと立ち止まったときにこの画面を開き、共に笑い合った仲間の顔や先生方の力強い言葉を思い出してください。

卒業生のみなさんの歩む未来が、希望と光に満ち溢れたものであることを、心よりお祈り申し上げます。

広報委員 大村裕美